

大和上市

悠々の吉野川とともに



まちづくりマップ

題字：杉中 雪葉

行事

●1月上旬 とんど

大字ごとに川原で正月の松飾りやしめ縄を持ち寄り、近くの竹藪の竹を組んで燃やし、1年の無病息災を願います。残り火は各家庭に持ち帰られます。



●2月11日 初市

かつての上市では、毎月6回市神となる蛭子神社を囲むように「六斎市」と呼ばれる市が立ち、多くの人で賑わっていました。現在は、2月11日(旧暦1月10日)に開催されています。

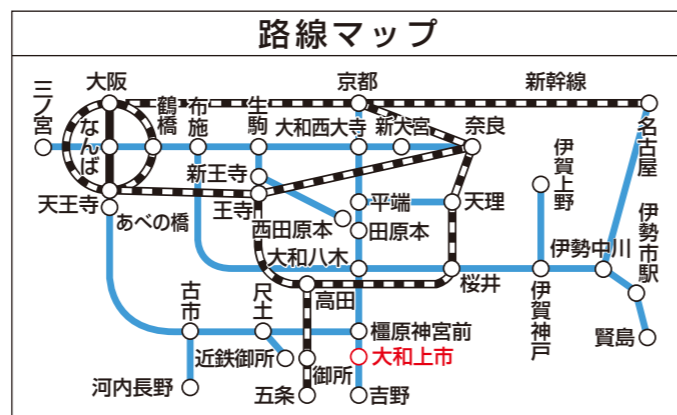


●7月下旬 納涼大会

昭和30年(1955)から夏の納涼大会が開催されています。川には千基の灯籠が流され、川原からの花火が夜空を焦がし、山々にこだまする花火が人々を魅了します。



また、町内にはその年に流行ったことやニュースを題材として、疫病を追い払う立山を身近にあるもので飾り立てます。



協働によるマップづくり

- 奈良県では地域資源を再発見するためマップづくりを行っています。平成28年度は次の地区で作成しました。
- このマップは「上市まちづくりマップの会」と「なら・まちづくりコンシェルジュ(事務局:奈良県地域デザイン推進課)」が協働で作成しました。
- 平成29年(2017年)3月発行
- 問い合わせ先
上市まちづくりマップの会
(事務局:吉野町産業観光振興課)
TEL0746-32-3081
奈良県地域デザイン推進課
TEL0742-27-5433



上市のまちなみ

<上市小学校>

明治5年(1872)学制が発布されると同7年、上市村に「貫徹舎」と称する小学校が開設。本町の船津藤四朗宅を借りて校舎とし、たくさんの生徒が通いました。生徒の増加に伴い校舎の移転を繰り返し、同43年(1910)に新しい校舎が完成。当時の島田駒太郎町長を中心に地元住民の熱意により建てられ、白壁造りに太い柱、大屋根の鴉尾と、寺院のような特徴ある玄関を持っていました。昭和41年(1966)水分・六田小学校と統合され、吉野小学校となるまで、上市小学校校舎は約60年間、上市のまちの象徴となっていました。

現在は記念碑が残され、吉野町中央公民館となっています。



<上市小学校校舎>

<上市のまちなみ>

古来より東西の交通路として重要でありましたが、江戸時代になると伊勢街道沿いの町として整備され、紀州藩などの大名の参勤交代の通路となり、たくさんの宿屋が建ち並ぶ宿場町となりました。

大正から昭和にかけて、奥吉野の出入り口であり、郡役所の所在地であった上市は、活気にあふれていました。大峰参りの人々は、桜の渡し付近で沐浴し、その晩は上市で泊り、早朝に吉野山から大峰山へと向かいました。また筏師や川上方面の人々も宿泊していました。旅館、料理屋、カフェ、芝居小屋、たまつき場などがあり、毎日夜遅くまで賑わっていました。



<現在の旧南伊勢街道のまちなみ>

中の島(現上市)の変遷

吉野川にはかつて、中の島(中州)があり、人々は小さな橋を渡り、この中の島で吉野川上流より流された材木を川岸で引き揚げ、この地で取引を行っていました。室町時代にはすでに木材の市が盛んに行われ、近郊村落の一般生活物資の交換経済の場としても繁栄し、吉野山に朝廷が置かれた時も、様々な物が献上されていたと言われています。

中の島は、この地域の重要な場所となっていました。延宝2年(1674)の大洪水で人家のすべてが流失しました。家屋をなくした人々は、千股の里(現上市)や丹治の村に移り住み、中の島の市場町は姿を消しました。



<中の島>

昭和2年(1927)、吉野鉄道(当時)阪本仙次社長により、「美吉野グラウンド」が建設されました。約7万㎡の広さを持ち、当時としては有数の運動場でありました。陸上競技場、野球場、テニスコート、相撲場などが造られ、ラグビー、サッカー、バスケットボール、バレーボールの設備も整ったグラウンドができ、日本女子オリンピックや学童オリンピック、国際競技大会なども盛大に行われました。現在は、吉野小学校や吉野木材協同組合連合会などがあります。



<上空から見た美吉野グラウンドと上市>



①大和仏舎利塔 宝塔寺
 大和上市駅から徒歩7～8分の山道を登り着いた山頂にあります。ここから眺める景色が良く、吉野山一望でき、特に春には山一面を桜色に彩る素晴らしい景色をご覧ください。



③妙法寺『通称:大師山寺』
 吉野川の眺望が良く、絶景ポイントとなっているほか、秋には紅葉が綺麗です。弘法大師霊場として良縁、開運のご利益が有り、お参りの人が絶えません。また、四国八十八ヶ所の霊場を山中に奉っており、山上には金比羅宮を奉っています。



④澤井寺



⑤浄宗寺



④澤井寺・⑤浄宗寺・⑥大西寺
 文明8年(1476)、蓮如上人は対岸の飯貝の地に本善寺を建立しました。そしてこの地に浄土真宗信者が多く移り住み、道場として浄宗寺・澤井寺・大西寺を開かれました。
 また、浄宗寺開祖の祖先にあたる清崎某は南北朝時代に吉野朝廷に奉仕し、帝から報償として「北村」の二文字を賜り清崎氏は北村氏と改名しました。その後も、この町には北村を名乗る家が多いと言われています。



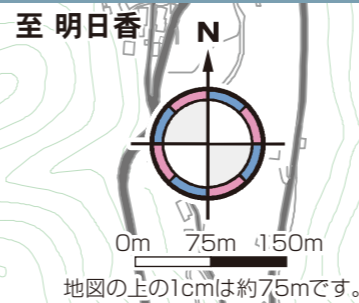
②水分神社



②上市の水分神社・⑨蛭子神社
 吉野川中州に発生した上市村で、住民の支えとなった氏神の水分神社や蛭子神社は、延宝2年(1674)の大洪水で浸水しました。その後、それぞれ上市に引き上げられ、天照大神を祭神とする水分神社はその後、増口椿井の森へ、蛭子神社は、現在の地に鎮座され、住民や遠方の材木商の信仰を集めました。



⑦金龍山西方院
 開祖は元禄時代とも思われる浄土宗の寺院です。ここから見える対岸の貯木場の眺望は清々しさを感じられます。



- 観光案内所
- バス停
- 駐車場
- トイレ
- スーパー・コンビニ
- ビューポイント



⑧三奇楼
 戦前まで料理料亭として営まれていた建物が2015年にリノベーションされ、ゲストハウスとして生まれ変わりました。また、地域交流や移住体験の施設としても利用されています。
<http://sankirou.com/>



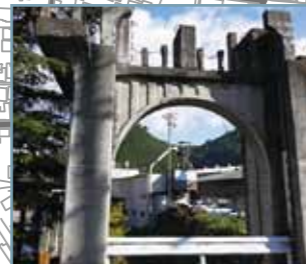
⑩阪本龍門文庫
 吉野の実業家・阪本猷氏が昭和初期に蒐集した一千点を超える貴重な古書籍を納めた文庫です。
 昭和33年、上市に正倉院をモデルにした高床式の収蔵庫が建設され、所有の書籍は現在デジタル公開中。
<http://www.geocities.jp/ryumonbunko>



⑬大名持神社『大汝宮』
 吉野川河岸、妹山樹叢に鎮座する延喜式内大社。延喜式神名帳によると大和国吉野郡十座の一つとして名神大社に列せられており、貞観元年(859)正月27日に正一位の極位の神階を授けられた神徳崇高な神社です。民間信仰として大汝詣りの行事があります。また、妹山樹叢は国の天然記念物に指定されています。



吉野観光案内所(レンタサイクル)
 トイレ
 ・営業時間/9:00～18:00 (12月～2月は17:00まで)
 ・定休日/水曜日 (水曜日が祝日の場合は木曜日)



⑪水門跡
 材木橋にかかるアーチ状の水門の跡です。原木が吉野川上流から筏で流されてきた時代には、原木を水中貯木場に導き入れて集積されていました。



⑫吉野杉の家
 Airbnb(民泊運営会社)と長谷川豪氏(建築家)によるHOUSE VISION 2016出展作品です。地域コミュニティと吉野杉の発信基地としてこの地域に移築されました。(宿泊可)
<https://yoshinocedarhouse.com/>



【a.近鉄吉野川鉄橋(上市橋から)】



【b.妹山と背山(桜橋から)】



【c.旧南伊勢街道】

※『妹背山女庭訓』の舞台